

## 四輪歩行車 KWR

# 取扱説明書



KWR484

### 目次

安全に関するご注意	1
1.各部名称	4
2.お使いになる前に	5
3.広げ方	6
4.ブレーキレバーの固定方法	7
5.折りたたみ方法	8
6.幅の変更方法	9
7.肘掛けの高さ調整方法	10
8.ブレーキのかけ方	11
9.シーソーパッドの使用法	11
10.保守・点検	12
11.仕様	13
12 保証	14

このたびはカワムラサイクルの歩行車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法  
が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードして  
いただけます ( <http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm> )。





ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご利用いただく際には必ず携帯していただくか、  
必要なときにいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。

**安全に関するご注意**      ご使用になる前に必ずお読みください。




安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

正しい取り扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
 <b>禁止</b>	してはいけないことを示しています。
 <b>必ず守る</b>	必ずしなければならないことを示しています。

以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

 <b>警告</b>	
 <b>禁止</b>	<p>この製品は、歩行車です。それ以外の用途には使用しないでください。</p> <p>屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。保管は屋内でおこなってください。</p> <p>倒れ掛かるような急激な座り方はしないでください。また、ハーネス（吊り座面）部以外に座らないでください。 転倒または壊れてケガをする恐れがあります。</p> <p>ハーネス（吊り座面）に座った状態で前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。歩行車が転倒し危険です。</p> <p>歩行車を火気に近づけないでください。 シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。 熱湯消毒についても同様です。</p> <p>勝手に改造・分解しないでください。 強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。</p>
 <b>必ず守る</b>	<p>道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。</p> <p>ハーネス（吊り座面）は、確実に掛かってあるか確認してください。</p>



# 警告

複数の人数で使用しないでください。  
この歩行車は、一人用です。破損・事故の原因となります。

ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。  
ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

介助者は、絶対に歩行車に乗って介助しないでください。

歩行車を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

傾斜地での歩行は、歩行車が予想外の方向に進むなど、大変危険です。

大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。

坂道や傾斜のあるところで駐車ならびに座らないでください。  
安定性が悪くなり、転倒の恐れがあり大変危険です。絶対にしないでください。  
傾斜地では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があり、大変危険です。  
滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても歩行器が動く場合があります。

雨ざらしにしたり、雨の日のご使用、ぬかるみ、水たまり等のある場所での  
ご使用はお避けください。  
車輪のサビ等により故障の原因になります。

可動部に指や手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。

小さなお子様には使用させたり、遊ばせたりしないでください。



## 禁止

この製品は車いすではありません。人を乗せたまま移動しないでください。

走行する際には片手で操作しないでください。  
傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。

下記のようなところに歩行車や部品を放置しないでください。

- ・車道に近いところ ・人通りのあるところ
- ・路面に段差や凸凹のあるところ ・湿気の多いところ
- ・雨風の当たるところ ・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
- ・直射日光の当たる場所(車内も含む)
- ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
- ・ほこりの多い場所 ・雨・風のアたる場所
- ・子供がいたずらをする恐れのある場所 ・非常口、消火器、消火栓の前
- ・坂道 ・暑い日や寒い日の戸外

ハーネス(吊り座面)上には立たないでください。転倒の恐れがあります。  
事故やサビ・破損の原因になります。

# 注意

肘当ては、必ず左右同じ高さにしてください。

ブレーキは必ず手で操作してください。

回転している車輪に指等を差し込まないように注意してください。

次のような場所・状況でのご使用は危険です。使用を避けるか、介助者に同行してもらってください。

- ・エスカレーター
- ・階段
- ・坂道
- ・ぬかるみ
- ・交通量の多い道路
- ・踏み切り
- ・防止柵のない側溝や路肩付近など
- ・凹凸の激しい道
- ・夜間、雨や雪、風の強い日
- ・凍結路
- ・深い砂利道や砂道
- ・その他危険が予想される場所

夜間、雨降りは通行者や車から発見しにくくなります。十分にご注意ください。

発進するときや段差を乗り越えるときには、車輪が真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。

斜めに進入したり、車輪が斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、車輪の破損や車輪からタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

認知症(痴呆症)の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。

歩行車の部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、十分ご注意ください。

ハーネス(吊り座面)をご利用の際には、ハーネス(吊り座面)がしっかりと装着できていることを確認してからご利用ください。

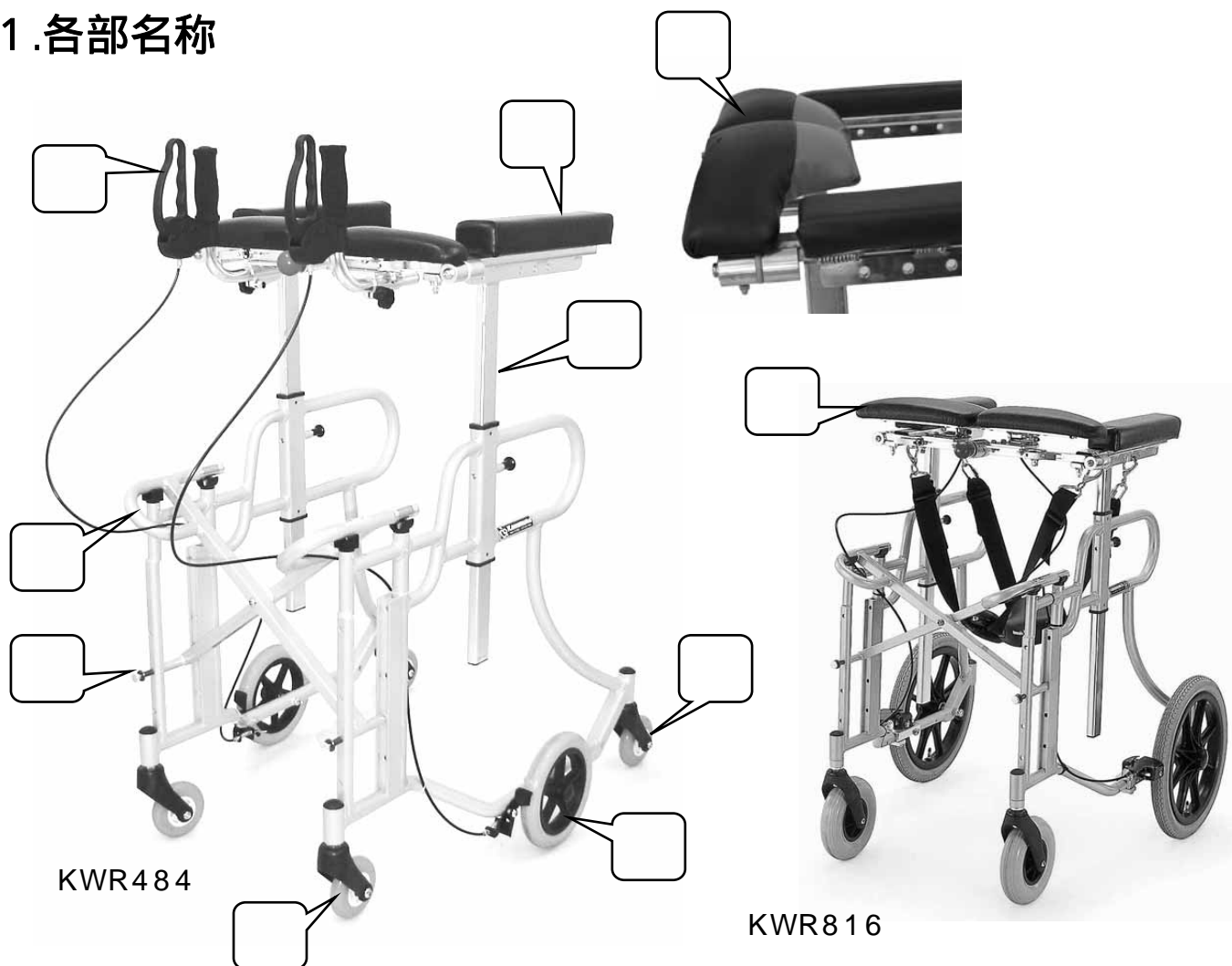
雨ざらしにしたり、雨の日のご使用、ぬかるみ、水たまり等の場所でのご使用はお避けください。サビや故障の原因になったり、バランスを崩す恐れがあります。



必ず守る

なお、この取扱説明書は、イラストが一部実車と異なる場合があります。

# 1.各部名称



KWR484

KWR816

肘当て  
前パッド  
アームサポート

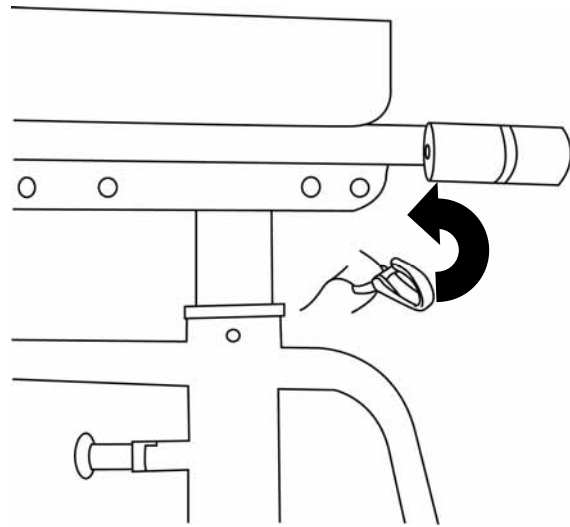
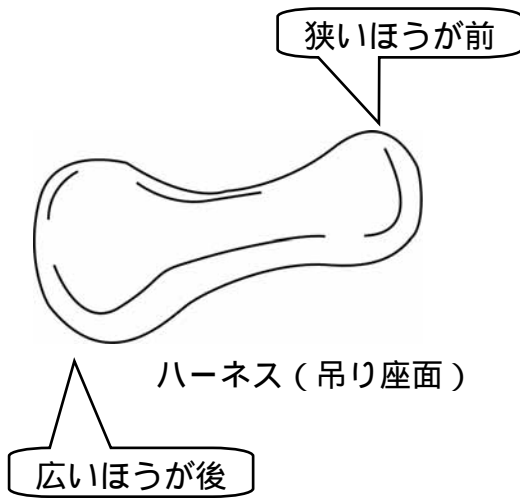
前キャスト  
中央輪  
後キャスト（後車輪）

クロス金具持ち手  
幅調整ピン  
ブレーキレバー  
シーソーパッド

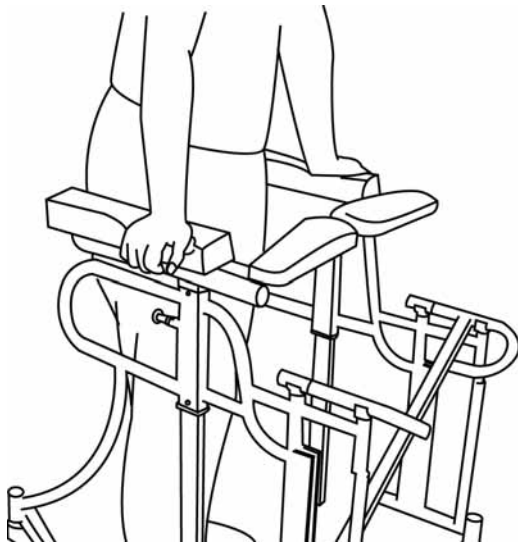
高さ調節のできる肘掛けです。  
歩行する際に支える場所です。  
高さ調整ができます。ご利用される際には、必ずロックされていることを確認してください。  
自在に方向転換できる小車輪です。  
旋回しない車輪です。横動きを防止します。(KWR484のみ)  
自在に方向転換できる小車輪です。  
主輪です。(KWR484のみ)  
たたんだり、広げたりするときに持つ場所です。  
座幅を変更する際に使用します。  
駐車や減速する際にご使用ください。(ブレーキレバー付のみ)  
駐車する際にご使用ください。(シーソーパッド付のみ)

## 2.お使いになる前に

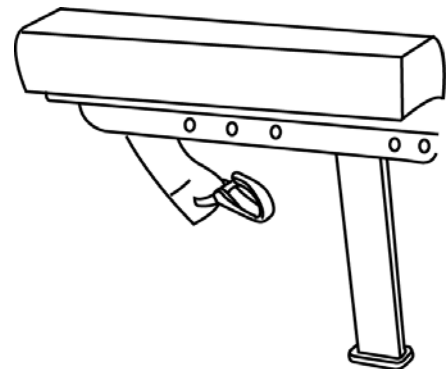
### ハーネス（吊り座面）の取付方法



前側のベルトのフックをフレーム前の穴の外側から掛けます。（2箇所の穴位置を利用者に合わせて決めてください）



歩行車の中に利用者が入り、ハーネス（吊り座面）を股にくぐらせます。



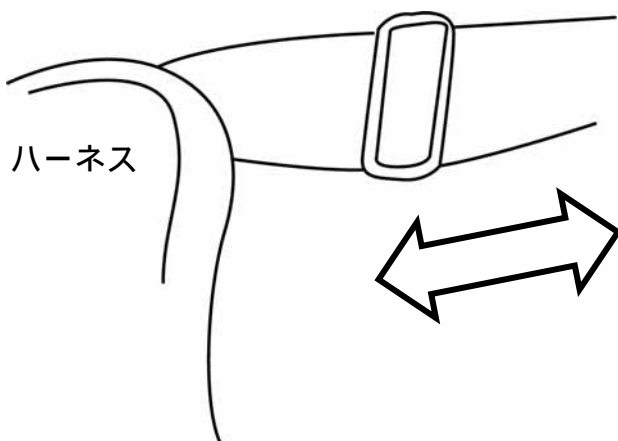
後側の穴にフックを外側から掛けます。（3箇所の穴位置を利用者に合わせて決めてください）

## 注意

『カチッ』と音がして肘掛けがしっかりと固定されていることをご確認ください。  
左右同じ高さに調節してください。  
左右の取付位置が異なると、バランスを崩す恐れがあります。

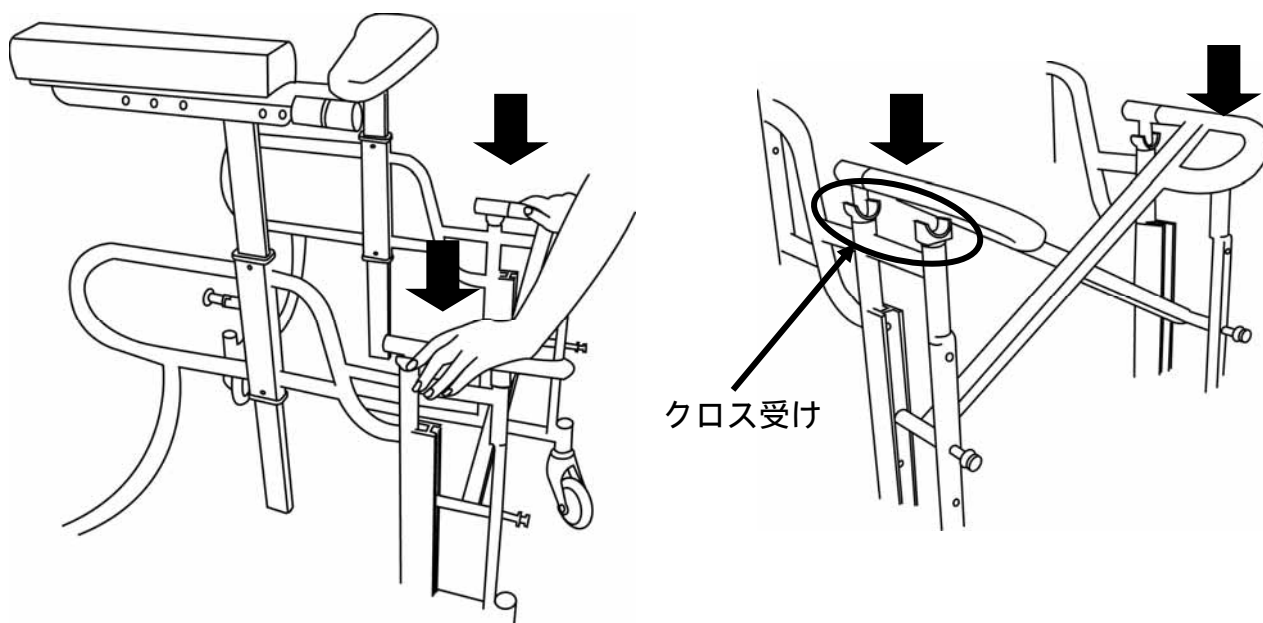
## ハーネス（吊り座面）の高さ調整方法

ハーネス（吊り座面）の高さ調整は、ベルトの長さで調整してください。



### 3. 拡げ方

< 拡げる時、折りたたむ時は前方から操作してください。 >

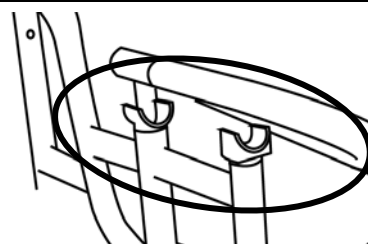


クロス金具持ち手を下へ押し拡げます。

クロス金具がクロス受けにしっかりと固定されていることを確認してください。

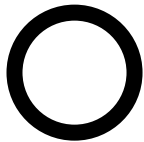
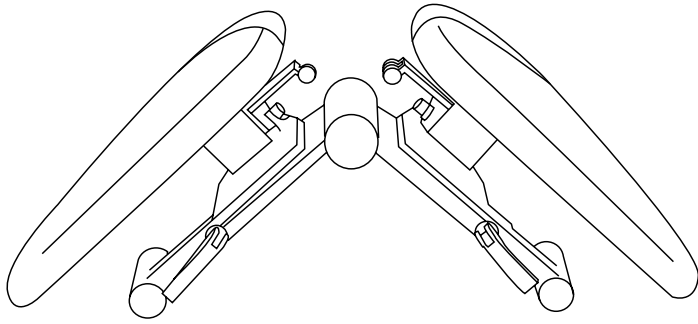
## 注意

クロス受けとクロスの間隙で手や衣服を挟まないように注意してください。

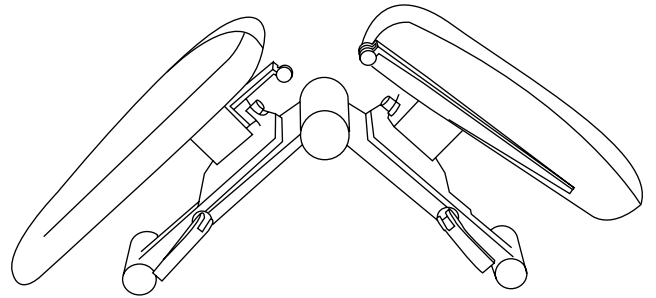


## KWR816の拡げ方

<左右のシーソーパッドの位置を同じにしてから拡げてください。>

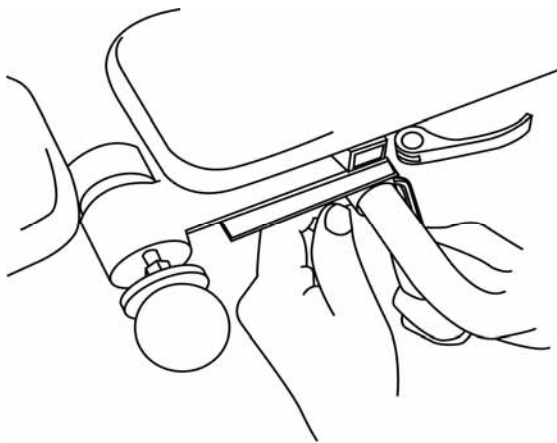


良い例

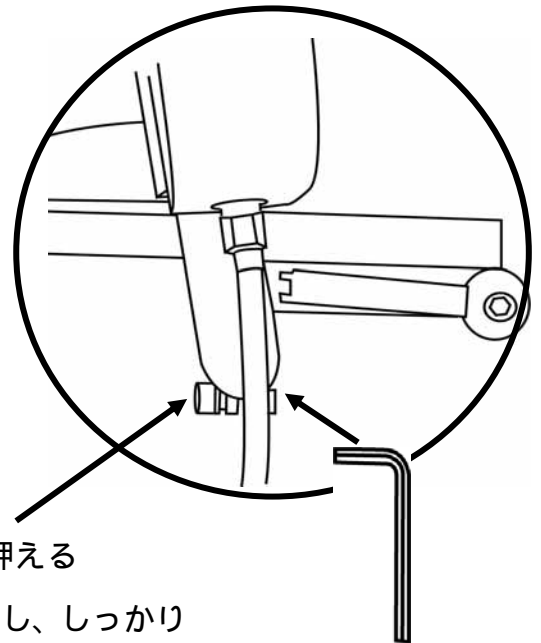


悪い例

## 4. ブレーキレバーの固定方法



ブレーキレバー固定ネジをゆるめ、位置を調整し、しっかりと固定ネジをしめてください。



指で押える

六角レンチで廻す

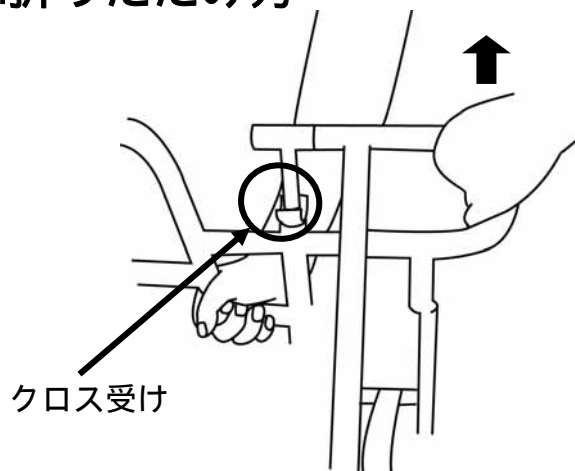


# 注意

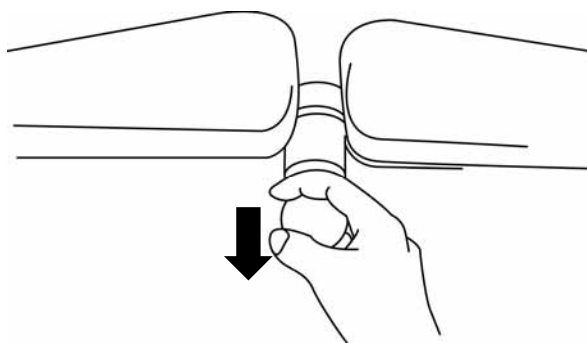
ご使用前には、必ずブレーキレバーが固定されていることを確認してください。思わぬ時に動き、大変危険です。



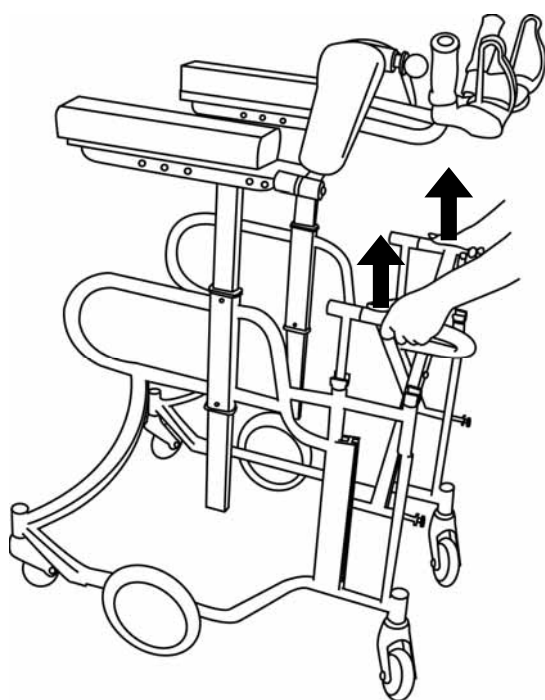
## 5.折りたたみ方



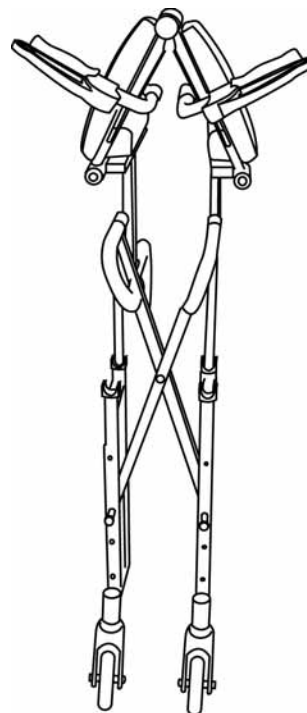
フレームを持って、クロス金具をクロス受けから外します。



赤いノブ玉を引ながら、前パッドを軽く上に持ち上げます。



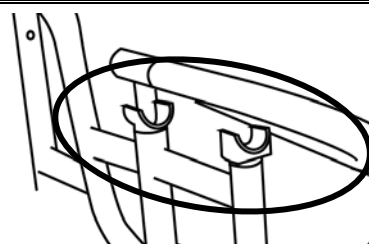
両方のクロス金具部を持ち上げます。



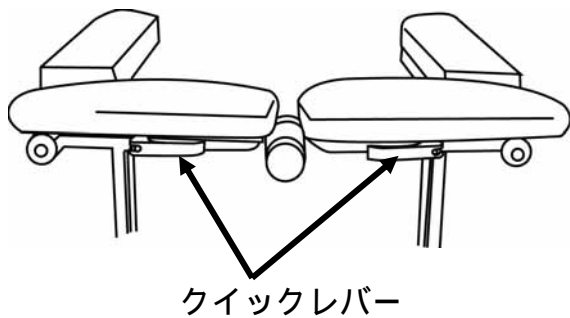
折りたたみ完成。

### 注意

クロス受けとクロスの間で手や衣服を挟まないように注意してください。



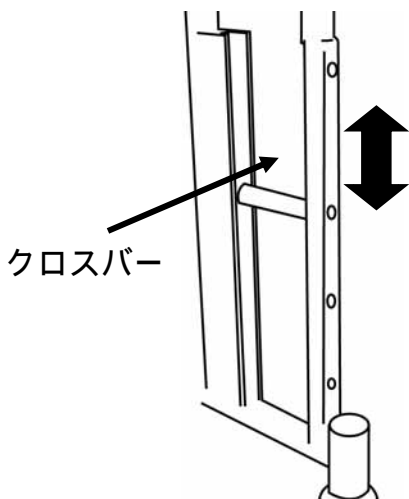
## 6.幅の変更方法



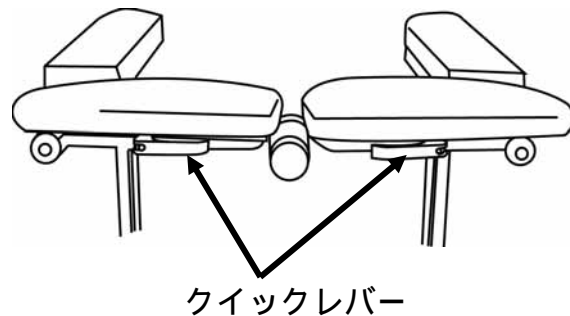
前パッド下のクイックレバーを緩めます。



調整ピンを押しながら引き抜きます。



クロスバーの位置を上下し、利用者に合った位置に合わせ、左右の幅調整ピンを押しながら差し込みます。(4段階調整)



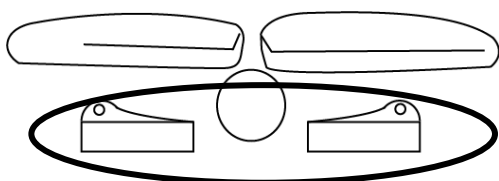
赤い玉を中央に合わせ、クイックレバーを締めます。

**⚠ 注意**

指をはさまないように注意してください。

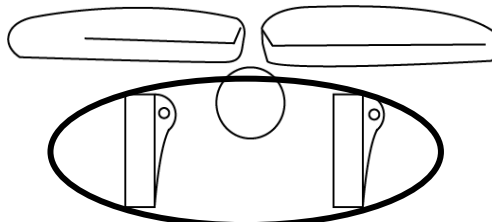
### <クイックレバーの固定位置>

ブレーキレバーがない場合



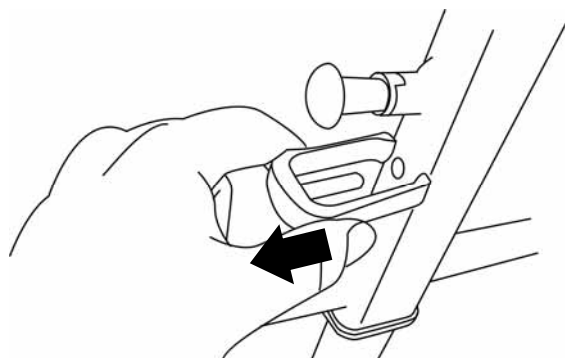
クイックレバーを内向きに止めてください。

ブレーキレバーがある場合

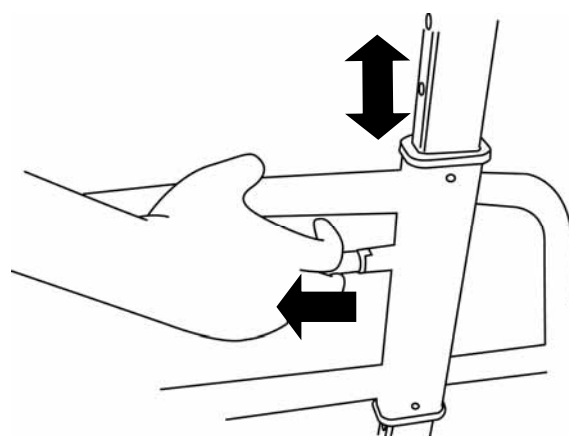


クイックレバーを下向きに止めてください。

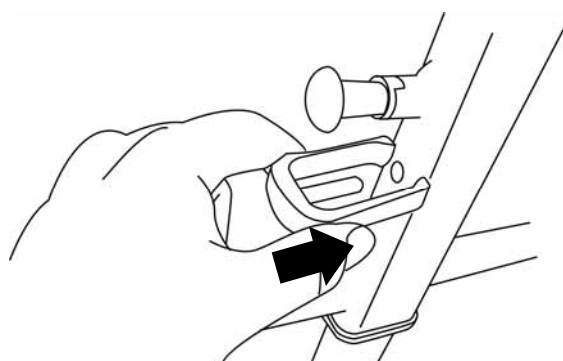
## 7.肘掛けの高さ調整方法



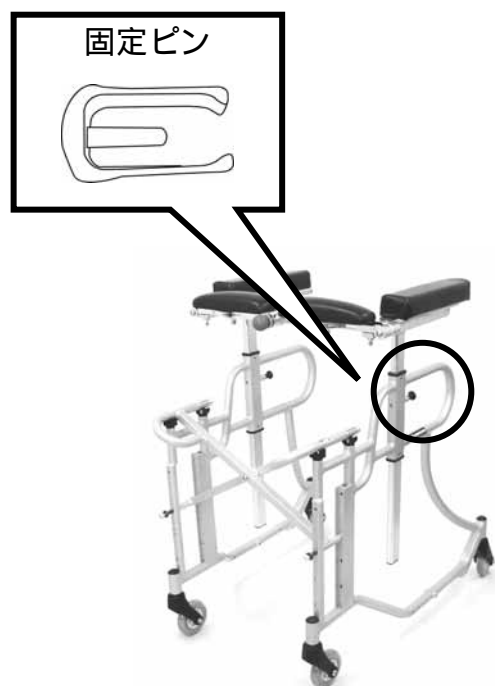
固定ピンを外します。



スライドピンを引きながら肘掛けの高さを調整します。



固定ピンを穴に差込みます。



### 注意

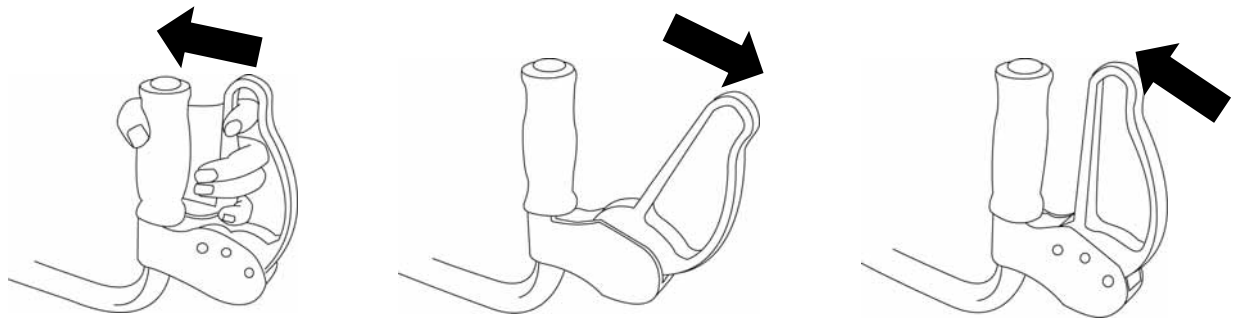
肘掛け（アームサポート）を下げる時、手や指、衣服等を挟まないように注意してください。

ご使用前には、必ず肘掛けが固定され、固定ピンが差し込まれていることを確認してください。

思いがけず肘掛けが下がり、事故の原因になります。

## 8. ブレーキのかけ方 (ループレバーがある場合のみ)

### ブレーキのかけ方

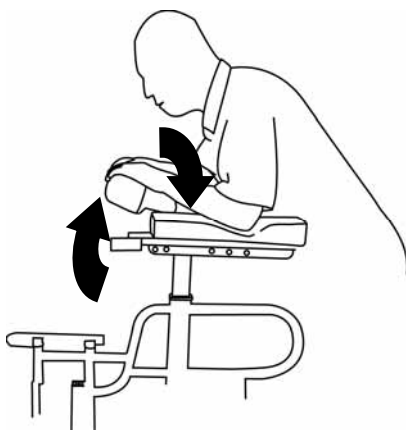


- [制動ブレーキ]                      [駐車ブレーキロック]                      [駐車ブレーキ解除]
- ・ブレーキレバーに指をかけ強く握るとブレーキが働きます。
  - ・指を離すとレバーは元に戻ります。
  - ・また、手のひらで前方に押すとブレーキがロックされ中央輪が固定されます。ブレーキをかけたとき左右の中央輪 (または後輪) がしっかりと止まっていれば正常です。
  - ・ロックされたブレーキを解除するには、レバーを手前に引き戻してください。
  - ・ブレーキレバーを片方握ると、左右のブレーキが連動して中央輪を止めます。

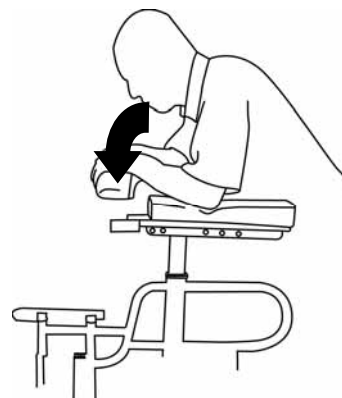
### ⚠ 注意

ブレーキをかけた時、中央輪の左右の効きかたが違ふときは調節が必要です。販売店に依頼してください。

## 9. シーソーパッドの使用法



シーソーパッドの後方側に体重を掛け、手前が下がっているとブレーキがかかり上がっていると進みません。(駐車)



シーソーパッドの前方側に体重をかけ、シーソーパッドが水平になるとブレーキが解除され進むことができます。

### ⚠ 注意

左右のシーソーパッドは連動して動きます。

## 10.保守、点検

この製品を安全にお使いいただくためには、日ごろのお手入れと点検整備が必要です。

### ネジの緩みはありませんか？

ネジ、ノブ類の緩みがないことを確認してください。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐ緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

### 汚れていませんか？

ホコリや泥などで汚れたときはそのままにせず、早めに濡れ雑巾等でふき取ってください。汚れのひどいときは中性洗剤をお使いください。

### ブレーキはしっかり効きますか？（ブレーキ付のみ）

ご使用前には必ずブレーキの効き具合を確認し、効きが悪いときにはご使用をお止めいただき、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

### 変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかを確認してください。車輪のベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。その他の原因の場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

### 四点接地していますか？

前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。

### 消耗部品の交換は必要ですか？

タイヤやブレーキシューなど消耗部品の磨耗がないか確認し、磨耗が激しい場合には交換してください。

### ワイヤーは切れていませんか？（ブレーキ付）

ブレーキワイヤーは切れていませんか？ブレーキが効かなかったり、転倒するなど大変危険です。安全のためにワイヤーは1年に1度交換をおすすめします。

### 洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

洗浄後は、乾燥させてください。カビやサビの原因になります。強いオゾンで消毒しないでください。タイヤの変色や劣化の原因になります。

### 異常が見つかったらご使用を中止してください。

## 1 1.仕 様

品名・名称	標準仕様・規格	
	KWR484	KWR816
材質（本体）	アルミ製 塗装仕上げ	
肘掛け内幅 (mm)	320・380・420・460	
全幅 (mm)	650～790	700～840
全高 (mm)	1060～1340	1050～1330
全長 (mm)	880	
全幅(折りたたみ時) (mm)	370	380
全高(折りたたみ時) (mm)	990	1170
全長(折りたたみ時) (mm)	880	
肘掛け高さ (mm)	920～1200 40mmピッチ 8段階調整	1020～1300 40mmピッチ 8段階調整
前車輪	4in ソリッドキャスト 樹脂ヨーク付	8in ウレタン 樹脂ヨーク付
中央車輪	8in ノーマル ウレタンタイヤ	-
後車輪	4in ソリッドキャスト 樹脂ヨーク付	16in
重量（ハーネス別） (kg)	14.9	18.7

記載の重量や寸法は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

地球の環境保護のため、廃棄するときにはそのまま放置しないで  
各自治体の取り決めにしてください。

## 1 2.保証

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において、故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

### 保証書

この商品には保証書を別途添付しております。

返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。

ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

### 保証期間

お買い上げ日より 1 年間（消耗部品は含みません。）

### 保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

### 消耗部品

・肘当て ・前パッド ・前、後キャスト ・車輪 ・ワイヤー ・ハーネス

### 保証の適用除外となる場合

- ( a ) ご使用による消耗品および取扱不注意による破損  
例) タイヤの磨耗およびパンク、シートの破損等
- ( b ) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
- ( c ) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
- ( d ) 保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
- ( e ) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- ( f ) 一般に歩行車が通行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
- ( g ) 製品の本来の使用目的にそぐわない使用による故障破損
- ( h ) 取扱説明書に従わずして生じた故障破損
- ( i ) 取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
- ( j ) 保証書をご返送いただいていない未登録の製品
- ( k ) 日本国外でご使用の場合

### 補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

### 本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しく下さい。

**一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。**

異常や不具合が見つかったらご使用を中止して、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで  
各自治体の取り決めにしたがってください。



■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町 1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックスビル 5階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原 1-18-3	TEL092-882-4722
■神戸工場 ■神戸第二工場 ■いなみの工場			

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。